

一般質問

■子育て支援環境の拡充について



木戸 奈諸美 議員
(市民クラブ)



子育て世帯への経済的支援と本市独自施策について

質

子育て支援のさらなる充実に向け、0歳から2歳児の保育料完全無償化を実施する考えがあるのか伺う。

また、現在、本市が独自に実施している主な子育て支援施策についても併せて伺う。

答

保育料の無償化は、子育て世帯の経済的負担の軽減や子育て支援の充実につながる施策であると認識している。一方で、継続的な財源の確保や保育人材の確保、保育需要の増加への対応、在宅で子育てを行う家庭との公平性などの課題もあることから、慎重な検討が必要であると考えている。

また、本市としては、保育園等を利用する家庭だけでなく、家庭で子育てを行う保護者への支援も重要であると考えている。乳幼児期に家庭で過ごす時間は、親子の愛着形成や子どもの健やかな成長を育む大切な時間であることから、家庭での育児を支える取組にも力を入れている。

具体的には、こども誰でも通園制度や子育て応援サービス券の支給、親子ふれあいランドをはじめとする子育て支援センターでの交流の場の提供、育児相談や発達支援など、多様な子育て支援に取り組んでいる。

今後も、保育料負担の軽減に加え、保育サービスの充実や家庭で子育てを行う世帯への支援を進めるとともに、SNSや市ホームページ、子育てハンドブック等を活用し、各種支援制度の周知に努め、総合的な子育て支援の充実に取り組んでいきたい。

一般質問

■部活動の地域展開の状況と課題について



木下 美也子 議員
(無会派)



生徒の活動機会を守るための支援策

質

部活動の地域クラブ活動への移行に当たっては、家庭の経済状況によって活動機会に差が生じないよう配慮することが重要である。また、その移行に伴い保護者負担が増加する場合には、経済的な理由により活動を断念する生徒が生じないよう支援が必要と考える。そこで、保護者負担の軽減や活動機会の確保に向けて、補助制度の創設を含む支援策について、市の考えを伺う。

また、文化部活動は運動部活動と比較して地域の受け皿の確保が困難な分野もあると考える。本市における現状と課題をどのように認識しているのか、また、今後の体制整備や支援をどのように進めていくのか伺う。

答

部活動の地域移行に伴い、地域クラブの会費など保護者負担の増加も見込まれることから、その負担軽減を図るため、国の補助制度の活用について検討を進めている。

また、文化部活動は運動部活動と比べて受け皿となる団体が少ないことから、文化協会に働きかけ、受け皿となる団体の確保を進めている。課題としては、文化部活動全般における指導者不足のほか、吹奏楽部における練習場所の確保、楽器のメンテナンス、破損時の責任の所在などが挙げられる。今後は、部活動のあり方検討委員会や文化協会と協議しながら、地域移行に向けた体制整備を進めていく。